

# みんなの水

- 水道事業広域化に向けて
- 水道管にも冬支度を!
- 下水道に接続しましょう
- 浄化槽の使用者には、適正な維持管理が法律で義務付けられています



水のことならおまかせ  
たかのみず博士

## 今すぐ始めよう! 地震への備え

高松市では、近い将来の発生が確実視されている南海トラフ地震の影響を大きく受けると言われています。特に地震発生直後は、断水や下水道の機能障害が発生する可能性があり、上下水道局では発生から28日以内に上下水道の応急復旧を完了させることを目標にしています。

復旧までの28日間を乗り切るためには、お客さま一人一人の備えが重要です。被災時をイメージし、必要なものと使い方を考えてみましょう。



\\ 今から準備しよう!! //

### 水に関する防災グッズ



### 防災グッズが大活躍!

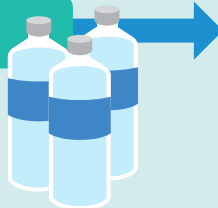
~使うタイミングと方法~



水道水で備蓄する場合、3日以上経過した水は飲用以外に使用してください。

#### 水

1人1日3L×3日分の水を備蓄しておきましょう。水は冷暗所で保管し、定期的に入れ替えましょう。



#### 1日目~3日目 断水したら...

広範囲で断水すると、応急給水を開始するまでに3日程度かかることが予想されます。備蓄しておいた水を飲用と最低限の雑用水として使用しましょう。



#### 給水容器

水を運ぶための容器などを備えておきましょう。(ペットボトル、ポリ容器、給水袋など)



#### 3日目~ 応急給水が始まったら...

通常給水が復旧するまでの間、水道水の供給は応急給水所が中心になります。持ち運びしやすい容器を応急給水所まで持参してください。



水の運搬は重くて大変です。地域で協力し合うことが大切です。



給水袋は「リュック型」など持ち運びしやすいものがおすすめです。

便座が使えないときは、段ボール箱でも代用できます。

#### ビニール袋

#### 段ボール箱

#### 新聞紙

#### 凝固剤

#### 1日目~ トイレの水が流れなくなったら...

断水や下水道管の破損でトイレに水を流せないときは、ビニール袋や新聞紙を利用し、使用後はゴミとして処分してください。

#### 水を流せない時のトイレの使い方

- 1 便座に二重にしたビニール袋をかぶせます。
- 2 細かくちぎった新聞紙を便座の中に敷き詰めます。(凝固剤を使う場合は、新聞紙は必要ありません。)
- 3 使用後は、ビニール袋の口を縛り、ゴミとして処分します。

水の研究をしている まつこ助手

地震が発生した際は、

- ①3分間は身を守る、②3時間以内に二次災害から逃げる、③3日間は自分たちで生き延びる、という三箇条を行動に移すことが、皆さんの命を守ることに繋がります。

特に3日間を生き延びるために、大切な水についても日頃から十分に備えておきましょう。

たかまつ防災マップもご活用ください!

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/takamatsubosai/index.html>

防災マップのお問い合わせは  
危機管理課まで ▶TEL.839-2184

